



# 大砂土東小だより 第4号

学校教育目標 心ゆたかに かしこく たくましく

電話；684-8003

<http://osatohigashi-e.saitama-city.ed.jp>

## カレーライスの味

校長 小堺 新一



「校長先生、ぼくのアサガオ見て！」「私のも見て！」  
登校指導を終えて中庭を歩いていると、水やりを終えた1年生の子どもたちが駆け寄ってきます。子どもたちと一緒に、一つ一つ鉢植えをのぞき込みます。

「あのね、この一番大きいのがお父さん、次に大きいのがお兄さん。この一番小さいのが赤ちゃんなんだよ。」

一人の男子が、アサガオを家族に見立てて話をしてくれました。アサガオを大切に思うその子の優しさが伝わってきます。植物や生き物を育てることは、知らず知らずのうちに生命を慈しむ心の育成に結び付いているのですね。花が開いたとき、子どもたちはどんな言葉で喜びを伝えてくれるのでしょうか。今からとても楽しみです。

さて、6月上旬のことです。新聞のコラムで気になる記事を目にしました。レトルトカレーの市場規模が固形ルーを上回ったというのです。急いで関連記事を調べてみました。レトルトカレーの需要拡大の事実が次々と分かってきました。①2017年、レトルトカレーの購入額(461億円)が固形ルーの購入額(456億円)を上回った。②固形ルーを使った家庭の手作りカレーは、一度に食べ切れない高齢世帯や単身世帯には向かない。③共働き世帯は、調理に時間や手間をかけることを敬遠するようになった。…

そして、食文化の専門家の次の指摘は、昭和どっぷりの私にとって少々ショッキングなものでした。<家庭では個食化が進み、ルーで1種類のカレーを作るより、レトルトを使った方が合理的だ。カレーは今後も国民食であり続けると思うが、『家庭の味』ではなくなっていくだろう。

(読売新聞より) >

忙しいお母さんとお父さんにとって、家庭料理の今日的なテーマは、「効率化」なのかもしれません。このことはきっと正しいことなのでしょう。でも、(料理もしない私が言うことではないのですが) カレーが家庭の味ではなくなる？ことに一抹の寂しさを感じてしまいます。夕方、家族みんなで食卓を囲み、コトコトと煮込んだカレーを頬張った記憶をだれもがもっているのではないのでしょうか。

私の母親は、「肝っ玉母さん」ではありましたが、病弱な一面をもっていました。人一倍、健康志向の強かった母親の作る料理はオール自然食。ですから、わが家のカレーは大豆タンパクをお肉の代わりに煮込んだものでした。本物のお肉を使っていなくても、食べ盛りの私たち兄弟は、三分搗き(玄米ほどではないが薄茶色の米、ぼそぼそ感がある)のご飯と大豆タンパク入りのカレーが大好きでした。そのカレーは、私たちにとって慣れ親しんだ「母の味」だったからでしょう。

ある年、ご近所の友達の誕生会に招かれ、お昼ご飯をごちそうになりました。メニューはカレーライス。真っ白いご飯に豚肉入りのカレーは、私にとって未知の味でした。正直言って美味しかった。帰宅後、私は母親に(たぶん興奮気味に)いただいたカレーライスの話をしました。「ご飯が真っ白なんだよ。本物のお肉入りで、お代わりしちゃった！あつ…、うちのカレーも美味しいけど…」『そう…。』困ったような、少し悲し気な表情の母。台所で夕飯の支度を始めた母親の後ろ姿から、いつもの元気が伝わってきませんでした。

母親が亡くなって10年がたちます。これまでの間、いろいろなカレーをいただいてきましたが、私にとってカレーの原点は、やはり母親がコトコトと煮込んでくれたあ的大豆タンパク入りのカレーなのです。もう味わうことのできない「母の味」なのだと思います。

皆様のご家庭でも、わが家のカレーの味があるのではないのでしょうか。お子さんにとって、食生活の原点となる『家庭の味』をどうぞこれからも大切になさってください。

# 大砂土東小ダイジェスト

## グローバル・スタディ (G・S) の授業 6月26日(火)

昨年度までさいたま市のグローバル・スタディのモデル校となり、英語の授業について研究を重ねてきました。今年度から新たに3年間、グローバル・スタディの研究指定をさいたま市から受けました。研究主題は、「英語に親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成 ～認め合うことができる子～」です。英語を楽しみながら身に付け、相手を大切に思いながら、英語での関わりがもてる児童になってほしいと願っています。



授業には担任の他にGS専科教員、ALTや中学校の英語教員と一緒に取り組み、授業の充実を図っています。また周知の通りグローバル・スタディの時間数も昨年度より増加し、朝の時間も授業として行われ、英語に親しむ時間がさらに増えました。ご家庭でも英語に触れる機会を増やしていただいたり、授業の内容を聞いていただいたり、児童の励みになるようにご協力をお願いします。

## 「第1回学校評議員連絡会・学校関係者評価委員会・いじめ対策委員会」が開催されました！

6月11日(月)に第1回学校評議員連絡会・学校関係者評価委員会・いじめ対策委員会を行いました。

授業参観後、校長より学校経営方針と児童の活動の様子を説明しました。いじめ対策委員会では、生徒指導主任より「いじめ防止基本方針」を踏まえた本年度の取組についてお伝えしました。児童の安全のための取組について地域の方々と連携して行うことが確認できました。

## 大砂土中学校の出前授業(小・中一貫教育)

6月28日(木)に大砂土中学校との出前授業が行われました。授業は、理科・国語・数学・保健体育・美術を行いました。中学校の先生の専門的な知識を生かした授業で6年生も楽しそうに授業を受けることができました。6年生も中学校での授業の雰囲気や体験でき、安心して中学校への進学ができるとよいですね。これからも大砂土中学校との連携を大切にいきます。

## プール開きが行われました！

6月12日(火)、6年生全員が参加して、プール開きを行いました。あいにくの雨模様でしたが、校長先生の話や水泳の注意事項の話の後に各クラスの代表委員が水泳



の個人や学年のめあてを発表してくれました。天候の都合で入水できませんでしたがこれからの水泳学習を通して水に親しみながら泳力を伸ばしてほしいです。

## 4年校外学習 6月27日(水)



4年生が校外学習を行いました。午前には市防災センターを訪れて煙や地震の体験をしたり、消防士さんの仕事や消防車の種類と働きについての説明を聞いたりしました。午後は青少年宇宙科学館でプラネタリウム学習に取り組みました。終わった後に空気砲などサイエンスショーも見学して、充実した時間を過ごしました。

## 小さな命の大切さ



1年生が生活科でアサガオを育て、理科で3年生はホウセンカ、4年生はヘチマを育てています。たくさんの夏の日差しを浴び元気に育っています。講話朝会の話にもありましたが、小さな命の大切さにも気づき、友達にも優しく接する児童に成長してほしいですね。

## 環境美化活動

6月16日(土)PTA環境美化委員の皆さんと6学年の保護者の皆さん、職員も加わり環境美化活動が行われました。雨模様のため校舎内の各水道や昇降口をきれいに清掃してくださいました。児童が気持ちよく過ごせるように校内をたいへんきれいにしてください、どうも有難うございました。

「給食費等引き落としについて」7月の引き落としは7月2日(月)です。引き落とし額は4,100円です。残額をご確認ください。なお、引き落としされなかった場合の再振替は、7月17日(火)です。